7月17日（金曜日）「知識の中でも」

【新改訳 2017】

伝道者の書　1•16－18

「私は、一心に知恵と知識を、狂気と愚かさを知ろうとした。それもまた風を追うようなものであることを知った。実に、知恵が多くなれば悩みも多くなり、知識を増す者は悲しみを増す。」（17、18節）

箴言では「知恵と知識」のすばらしい恵みを教えられました。が、ここでは調子が違います。知恵や知識を追い求めることは風を追うようにむなしいことだと嘆き、それを増すことがかえって悩み悲しみを増すと嘆いています。

外国のあるノーベル賞を受賞した科学者が、カウンセリングを希望しました。その人は、仏教もイスラム教もキリスト教もよく知っていたそうです。しかし、心に平安をもつことができないと訴えました。博学がかえって彼の心を乱してしまったのです。

この伝道者は、創造主なる神と生きた関係をもたなければ、日の下（この世）だけの知識のむなしさから救われることはな

いと教えています（同 3•13、14参照）。

～祈り～

主よ。どうか、私たちに真に必要な知恵と知識を教えてください。

**【学びのために】**

注意:本書での「知恵」「知識」は、箴言のそれとは内容が少し違っているように思われます。なお、本書の著者は一般にソロモン（王）とされています（1•1参照）。